



5月



## 図書館だより

平成 30 年

吾妻中学校



新緑の美しい季節です。田に水が引かれ、田植えがはじまりました。  
これから、蛙の鳴き声がにぎやかに聞こえてきますね。この時期になると  
思い出す詩があります。

## 春のうた

草野 心平

かえるは冬のあいだ  
土の中にいて春になると  
地上にでてきます。  
そのはじめての日のうた。

ほっ まぶしいな。  
ほっ うれしいな。

みずは つるつる。

かぜは そよそよ。

ケルルン クック。

ああいにおいだ。

ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。

ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。  
ケルルン クック。

詩集「げんげと蛙」 1984年

いわき市出身の詩人、草野心平は  
蛙の詩をたくさん残して蛙の詩人と  
いわれています。

草野心平記念文学館より

## 4月5月の貸し出し数 (5月21日まで)

学年	1年 (8人)	2年 (9人)	3年 (8人)	計 (25人)
貸出数	71冊	6冊	32冊	109冊
一人あたりの貸出数	8.9冊	0.67冊	4冊	4.36冊

## 猪苗代わくわくブック

わくわくブックに再挑戦！

町で薦めている本のリストが約半分変わりました。

新しくなった本は、

「明日につづくリズム」「綾瀬はるか戦争を聞く」  
「犬から聞いたすてきな話」「表参道高校合唱部」  
「君たちはどう生きるか」「君の脾臓を食べたい」  
「心を整える」「鼓笛のかなた」「ダレン シャン」  
「月夜野に」「モリー先生と火曜日」などです。

## (今月のおすすめの本)

<「また、必ず会おう」と誰もがいった。>喜多川 泰著 (わくわくブック)

熊本に住んでいる高校2年生が、秋に修学旅行で行くディズニーランドに「行ったことある」と、友達にうそをついたことから、夏休みにひとりで内緒でディズニーランドに行き、写真を撮ってくるのだが、、、そのあとは、なかなか家に帰れなくなり、さまざまな、出逢いを体験する。本のソムリエ、清水克衛さんもおすすめの本です。